

土木ふれあいフェスタ in 大曲のご紹介



強いトンネルの実験



液状化実験



ペットボトル実験



強い橋の実験



歩いて測量体験

パネルの広場

公益社団法人土木学会は、1914年に設立され、以降、「土木工学の進歩および土木事業の発達ならびに土木技術者の資質向上を図り、もって学術文化の進展と社会の発展に寄与する」ことを目的に様々な委員会活動や研究、取り組みを行ってきました。

当小委員会は、土木事業や土木技術のステークホルダーである市民にも「土木」への理解を深めていただくとともに、新たな土木技術の継承者となる子供たちを育てるべく、2008年の発足以降、全国各地で「土木ふれあいフェスタ」を開催してきました。

～ これまでの開催地 ～

2009.4 秋田県秋田市 / 2009.10 広島県広島市

2010.10 北海道札幌市 / 2011.10 愛媛県松前町 / 2012.10 愛知県名古屋市

2013.10 千葉県柏市 / 2014.10 兵庫県神戸市 / 2015.10 岡山県倉敷市

実施概要 (平成 28 年度)

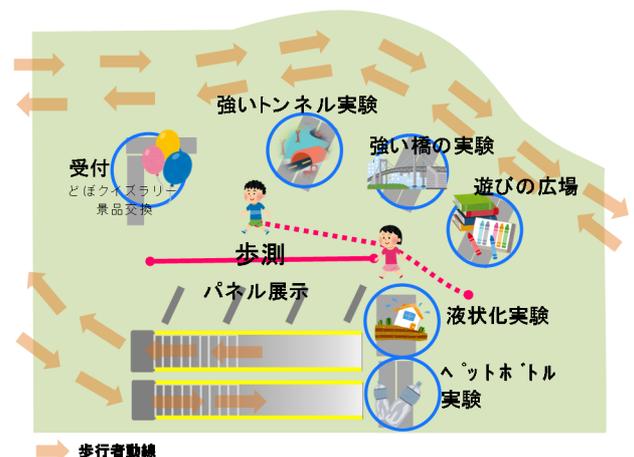
- イベント名 : 第9回 土木ふれあいフェスタ in 大曲
- 開催日時 : 平成 28 年 10 月 16 日 (日) 9:00 ~ 16:00
- 開催場所 : 秋田県大仙市「イオンモール大曲 (花火の広場)」
- 主催 : 公益社団法人土木学会 コンサルタント委員会 市民交流研究小委員会
- 協力 : 公益社団法人土木学会 トンネル工学委員会
- 後援 : 秋田県、大仙市
- 来場者計 : 402 人

実施内容

「くらしと安全を支える土木」をテーマに、スタッフがサポートをしながら、参加者には極力自らが見て、触れて、聞いて、考えながら土木に触れていただく場を提供します。

模型や装置、自らの身体を使いながらインフラ構造や液状化現象、測量手法等を学ぶ『体験コーナー』。

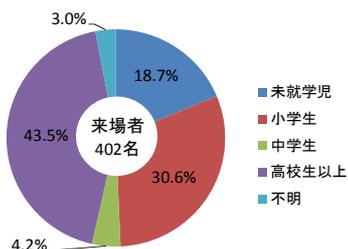
先人たちがその地域に残した土木遺産や、地域ごとに異なる災害への危険性を整理した防災マップを紹介する『パネルの広場』。小さいお子様でもぬりえや絵本を通じ土木を楽しめる『遊びのひろば』など、未就学生から、小・中高生から、高齢者まで、それぞれの立場に応じ楽しめる場をつくり上げています。



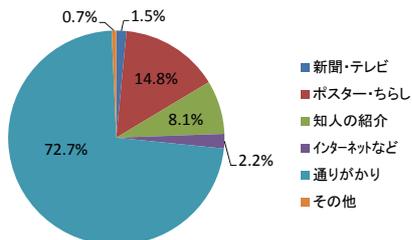
会場配置図

アンケート調査結果（平成 28 年度）

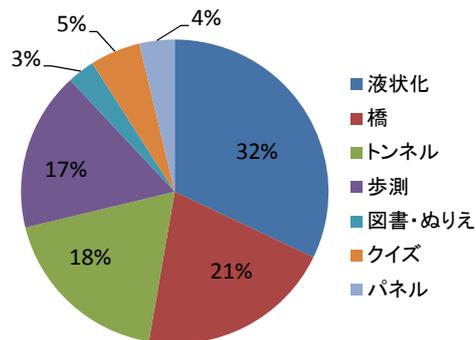
■ 来場者の年齢構成



■ 来場者のきっかけ



■ おもしろかったプログラム（参加グループ別回答，複数回答可）



<アンケート自由意見（抜粋）>

- ・大人も子供もたのしめるので、どんどんやってほしい！！
- ・身近にありながらあまり知らないことが多かったので、たいけんできてよかったです。
- ・土木は私たちの生活になくてはならないものはずですが、携わっている方々についてはよく知られていないように思います。もっとこういった機会を増やして頂いて(特に子供達に)広く認知してもらえるようにしてほしいです。次世代につなげるためにも！
- ・地図づくり(測量)を実感させる「歩測」は見事な企画でした。現在の測量機でも見せたくまりました。
- ・土木など、ふだんあまり使わなかったりする言葉だけど、土木は人々をささえる大切なものだと分かりました。
- ・とても勉強になりました。体験して覚えるのはとてもよい事だと思います。またあったら来たいと思います。
- ・このような子供たちが体験できるイベントはいっしょになって勉強できるので、大変おもしろいと思います。全国で実施されているとのことですので、今後ともがんばってください。



～ 委員会スタッフ ～

黒川信子(日本工営(株))/川上佐知(復建調査設計(株))清水陽子(秋田県)/荻原春視((独)都市再生機構)/加藤ひろみ・椛木洋子(株エイト日本技術開発)/木藤裕子(株アイ・エス・エス創研)/斎藤春佳(株アンジェロセック)/志小田可奈子(株ドーコン)/瀬尾弘美((株)建設技術研究所)/関直子(日本シビックコンサルタント(株))/中村恭子(株グレイス)/平澤江梨(前田建設工業(株))/溝田景子(建設技術研究所(株))/トンネル工学委員会:江口泰教・宮城大助(中央復建コンサルタンツ(株))

～ 平成 28 年度 サポートスタッフ ～

秋田県リケジョの会:安藤広美(ジオテックコンサルタンツ(株))佐藤優子((株)三木設計事務所)/田中清佳(創和技術(株))/中山望(秋田県)/吉田佑子(秋田県) 友情出演:松井一義(秋田県)